

令和4年度 第13回全体庁議（10月7日開催）

区分	審議・ 報告	案件名 (担当部)	(1) 十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告について[都市環境部]
----	---------------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨
<p>十勝圏複合事務組合では、新中間処理施設の整備について、十勝管内19市町村で構成する「新中間処理施設整備検討会議」を設け、検討をすすめている。</p> <p>この度、同検討会議において、施設整備基本計画(原案)の概要等が示されたことから、その内容について10月13日開催の建設委員会に報告するもの。</p>

■ 提案・報告の主な内容(概要)
<p>1 新中間処理施設整備基本計画(原案)の概要</p> <p>(1) 新中間処理施設整備基本計画策定の目的 新中間処理施設の整備に向けて、建設地周辺の状況や立地条件等を考慮し、必要な施設規模、計画ごみ量、公害防止計画、ごみ処理フロー等の基本事項を整理するもの。</p> <p>(2) 基本条件の整理 建設場所は帯広市西21条北4丁目5番1外11筆、敷地面積は約6.2ha、区域区分は市街化調整区域など、建設地の都市計画等の諸条件を整理する。 建設地及び周辺の状況として、水害にかかる要件として、建設地が洪水時の浸水地域となっているほか、活断層は確認されていない。 ユーティリティ条件として、電気、用水、排水にかかる内容を記載する。</p> <p>(3) 施設の計画目標年次 通年で稼働する初年度である令和10年度とする。</p> <p>(4) 施設規模 焼却処理施設の施設規模を292t/日、大型・不燃ごみ処理施設の施設規模を61t/日とする。</p> <p>(5) 施設配置・動線計画図 参考図として記載</p> <p>(6) 事業計画 事業方式は「DBO方式」、運営期間は「20年間」、入札・落札方式は「総合評価一般競争入札方式」、発注方式は「性能発注方式」を採用する。概算事業費は建設費、運営維持管理費、用地費用の合計で約611億円(税込)とする。事業工程は供用開始を令和9年度末を予定する。</p> <p>(参考) 新中間処理施設のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に十分な車両滞留長を確保すること、計量機を増やし一般持込車両と計画収集車両を分離することなどにより、渋滞や混雑対策を図る。 ・リチウムイオン電池などの火災の危険がある処理不適物の選別工程を導入する。 ・想定される地震や水害が発生した場合でも、施設の稼働に影響を受けないことを前提に整備する。

■ 今後のスケジュール
<p>・11月末を目途に組合議会で成案化される。</p>

■ 審議結果
<p>・同内容で、10月13日開催の建設委員会へ報告することです承された。</p>

■ その他、指摘事項等
<p>・特になし</p>